

初学者向け

読書会のご紹介

派生開発技術の基本を一緒に学びませんか？

派生開発推進協議会

運営委員

金田直純

Contents

1. 背景
2. 開催概要
3. 進め方
4. 開催実績
5. 参加者の声
6. 2022年度の予定（調整中）
7. 最後に

1. 背景

初学者の悩み 独学で派生開発技術を学ぶのは難しい

1人で技術書を読みながら学習



- 正しく理解ができているか確認できない
- 疑問点を相談できる相手がいない
- 具体的な実践例が分からず理解が深まらない

➡ 挫折・モチベーションの低下

初学者と一緒に
勉強できる機会があったら良いなあ・・・



➡ みんなで勉強する機会を作ろう！

独学で悩む初学者向けに読書会が発足！

2. 開催概要

- 目的
派生開発技術の**基本**とその**背景**になった**考え**方を理解する

- 学習内容
USDM, XDDP, 見積りと進捗管理

- テキスト
Software People連載記事(清水吉男元代表著)

- 対象者：**初学者**(AFFORDD会員)

- 実施形態：**オンライン**(Zoom)

- 講師：**古畑 慶次**(副代表)

- スタッフ：
アドバイザー：**池田 暁**(運営委員), **川口典子**(運営委員)
事務局：**金田直純**(運営委員)



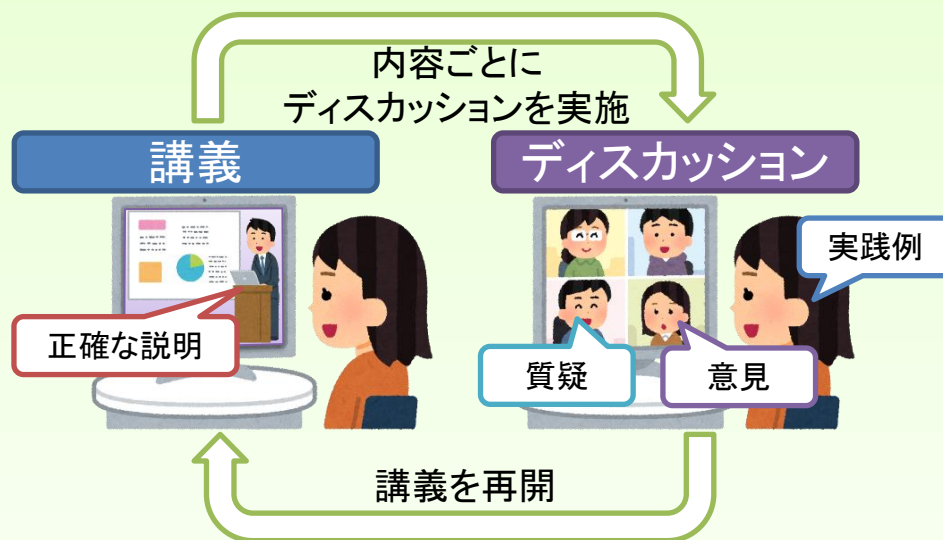
<https://www.amazon.co.jp/>

“派生開発”という
言葉は知っているが
まだ学習したことがない方

3. 進め方

アットホームな雰囲気での講義＋ディスカッション

講義とディスカッションを交互に実施



講義により正しく技術を学ぶ！

質疑により疑問点は都度解消！

意見交換で理解を深める！

実践例から理解を深める！

技術に対し、正しい知識と納得感を得ながら学習！

4. 開催実績

● 2021年度トライアル開催実績

- 期間：約1ヶ月/テーマ
- 頻度：1回/週
- 時間：19:00-20:30 (1.5-2.0h)
- 参加者：7名

テーマ	回次	内容
USDM編	第1回	要求仕様の現実
	第2回	要求仕様と Requirement Engineering
	第3回	要求仕様を書く技術(1)
	第4回	要求仕様を書く技術(2)
	第5回	派生開発時の実践テクニック, データを利用した効果検証術
XDDP編	第1回	派生開発はなぜ失敗するのか
	第2回	派生開発プロセス(XDDP)
	第3回	変更要求を表現する
	第4回	機能追加への対応, 移植の扱い, トレーサビリティ・マトリクスを埋める, 変更設計書に変更方法を書く
	第5回	3つの視点からのレビュー, 一斉にソースコードを変更する, XDDPの効果
見積りと 進捗管理技術編	第1回	"ざっくり"の屈辱, 見積もりという名の感触
	第2回	サイズを見積もる技術
	第3回	進捗を管理する技術

短期集中・少数精鋭で技術の基本を学習！

5. 参加者の声

● 2021年度トライアル開催 参加者より



内容・進め方ともに参加者から好評！

6. 2022年度の予定（調整中）

● 活動予定

時間：20:00～22:00(1.5-2.0h)※

頻度：1回/週

※参加者からヒアリングし、開催時間・曜日は調整予定

活動・テーマ	2022年					2023年								
	7月頃	9月～					11月～					2月～	3月	
募集	参加者募集													
USDM編		#1	#2	#3	#4	#5								
XDDP編							#1	#2	#3	#4	#5			
見積もりと進捗管理編												#1	#2	#3
全体総ざらい														#1

AFFORDD参画と読書会参加をどうぞご検討ください！

7. 最後に

初学者が挫折なく、
技術を習得できる絶好の機会！

派生開発技術の**基本**を
一緒に学びませんか？